

水戸市の消費者物価の概況

(昭和40年6月分)

6月の水戸市の消費者物価指数は総合で140.0となり、前月の138.3に比べて1.2%の上昇となった。

これは食料品のうち、野菜が17.1%の上昇をみたことと、住居費のうち家賃(+3.9%)の上昇があつたことなどによるが、また反面、食料費のうちでも魚介(-3.5%)などは値下りしている。野菜、魚、果物など生鮮食料品を除いた指数では0.1%の微落となった。

水戸市の消費者物価指数

昭和35年=100

	総合	食料	穀類	その他の食料	住居	光熱	被服	雑費
昭和39年6月	122.8	124.7	113.4	129.0	121.6	104.0	125.2	122.6
〃 40年5月	138.3	143.5	128.6	149.3	133.6	105.1	142.5	134.1
〃 40年6月	140.0	146.6	129.0	153.4	134.9	105.1	140.9	134.2
対前月比(%)	1.2	2.2	0.3	2.7	1.0	0	-1.1	0.1
対前年同月比(%)	14.0	17.6	13.8	18.9	10.9	1.1	12.5	9.5

これを費目別にみると食料指数は146.6で前月の143.5に比べて2.2%の上昇となった。これは野菜のうち、ねぎ、さしよ、馬鈴しょなどが品薄のため値上りしたためであるが、前月まで比較的高値を示していたキャベツ、大根、玉ねぎなどは大幅に下落し、かぼちや、きゅうり、トマトなどの夏野菜も出まわり期をむかえて値下りしている。また果物ではりんご(国光)が品薄で高値となり、乾物では干しわかめ、などが値上りしたが、一方魚介では生鮮魚介のうち、まぐろ、かつお、たいなどが値上りした外は横這いないし若干値下りし、塩干魚介では、たらこが値下りした。

住居指数は134.9で前月の133.6に比べて1.0%の上昇となったが、これは家賃の上昇があつたためである。

光熱指数は105.1で前月と保ち合いとなつた。

被服指数は140.9で前月の142.5と比べて1.1%下落した。これは男子夏シャツ、ズボン下などの夏物衣料の値下りがあつたためである。

雑費指数はレコードの値上りがあつたために134.2となり前月の134.1と比べ0.1%微騰した。

水戸市の消費者物価指数(大分類別)

昭和35年=100

年 月	総合	食料	住居	光熱	被服	雑費
昭和35年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
36 〃	105.7	106.6	110.7	99.5	102.6	104.0
37 〃	111.2	110.5	118.4	103.4	113.1	110.6
38 〃	119.5	121.1	119.4	104.1	120.8	118.7
39 〃	124.0	126.7	121.9	103.8	125.8	122.4
昭和39年 1月	120.3	121.2	121.2	100.6	124.6	120.2
2月	119.7	121.3	121.6	100.6	118.5	120.4
3月	121.8	124.3	121.6	104.5	120.9	120.7
4月	122.3	123.1	121.2	104.5	126.9	122.9
5月	122.7	125.0	120.7	104.5	122.6	122.8
6月	122.8	124.7	121.6	104.0	125.2	122.6
7月	123.8	126.9	121.3	104.0	123.2	122.6
8月	125.5	130.1	121.2	104.0	122.4	122.7
9月	126.1	130.1	121.1	104.0	127.7	123.3
10月	129.8	135.3	123.0	104.5	133.2	123.4
11月	126.6	129.6	123.2	104.5	131.3	123.6
12月	126.4	128.3	125.5	105.2	132.6	123.9
昭和40年 1月	131.1	134.1	126.1	105.2	137.1	128.9
2月	132.4	136.3	127.7	105.2	137.5	128.7
3月	134.5	139.6	129.7	105.1	138.0	129.1
4月	137.5	143.0	132.8	104.3	138.0	134.0
5月	138.3	143.5	133.6	105.1	142.5	134.1
6月	140.0	146.6	134.9	105.1	140.9	134.2

毎月勤労統計調査結果速報

産業別、常用労働者の1人平均月間出勤日数および実労働時間数 (昭和40年5月分)

産 業 別	出 勤 日 数			所定内労働時間数			所定外労働時間数			総実労働時間数		
	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数
業 数 (サービス業を除く)	日 21.1	日 21.4	日 21.2	時 159.5	時 163.8	時 160.7	時 16.2	時 6.2	時 13.3	時 175.7	時 170.0	時 174.0
業 業	23.0	23.9	23.1	166.2	171.0	166.6	34.3	13.7	32.6	200.5	184.7	199.2
設 業	20.9	21.5	21.0	158.5	153.7	157.8	10.3	1.4	9.0	168.8	155.1	166.8
造 業	20.2	20.9	20.4	154.8	163.3	157.4	14.1	4.3	11.0	168.9	167.6	168.4
食 料 品 製 造 業	21.5	21.6	21.6	162.3	164.9	163.3	13.8	4.3	10.2	176.1	169.2	173.5
織 維 工 業	23.8	22.5	22.7	197.5	179.0	182.6	9.7	3.8	5.0	207.2	182.8	187.6
衣 服・その他の繊維製品製造業	23.7	23.9	23.9	186.7	184.6	185.0	3.0	1.1	1.4	189.7	185.7	186.4
木 材・木 製 品 製 造 業	19.7	49.9	19.7	156.9	156.6	156.8	14.8	7.2	12.7	171.7	163.8	169.5
パ ル プ・紙・紙加工品製造業	26.0	21.5	25.4	182.9	167.1	180.7	23.8	6.2	21.3	206.7	173.3	202.0
出 版・印 刷・同 関 連 産 業	24.7	24.6	24.7	184.7	188.5	185.9	21.7	9.4	18.0	206.4	197.9	203.9
化 学 工 業	21.1	21.2	21.2	163.6	161.9	163.1	17.2	5.2	13.4	180.8	197.1	176.5
ゴ ム 製 品 製 造 業	21.3	20.5	20.9	169.5	162.8	165.7	9.1	2.5	5.4	178.6	165.3	171.1
窯 業・土 石 製 品 製 造 業	21.3	21.7	21.4	162.0	167.8	163.0	19.0	5.2	16.7	181.0	173.0	179.7
鉄 鋼 業	18.1	18.8	18.2	137.7	141.9	138.2	11.9	4.6	11.4	149.6	146.5	149.6
非 鉄 金 属 製 造 業	23.1	23.2	23.1	173.9	180.1	174.7	19.2	3.6	17.1	193.1	183.7	191.8
金 属 製 品 製 造 業	22.1	20.0	21.5	175.2	157.8	170.4	19.3	5.6	15.5	194.5	163.4	185.9
機 械 製 造 業	20.6	21.3	20.8	154.5	148.1	152.9	6.5	1.4	5.2	161.0	149.5	158.1
電 気 機 械 器 具 製 造 業	18.5	19.9	19.0	145.3	157.2	149.1	12.1	5.2	9.9	157.4	162.4	159.0
輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	20.0	20.0	20.0	141.6	148.7	142.8	16.7	2.2	14.2	158.3	150.9	157.0
計 量 器・測 定 器・測 量 機 械・医 療 機 械・ 理 学 機 械・光 学 機 械・時 計 製 造 業	22.0	20.8	21.5	167.1	161.1	164.3	14.9	2.7	9.3	182.0	163.8	173.6
そ の 他 の 製 造 業 (武器、たばこ製造業を含む)	21.0	21.6	21.2	162.2	170.7	165.4	16.8	3.6	11.9	179.0	174.3	177.3
卸 売 業、小 売 業	23.4	22.3	23.0	173.7	174.4	174.0	15.9	8.4	13.0	189.6	182.8	187.0
金 融、保 険 業	23.4	23.2	23.3	165.7	168.1	167.0	4.6	3.3	3.9	170.3	171.4	170.9
不 動 産 業	22.0	21.7	21.9	153.9	151.7	153.6	7.5	4.9	7.1	161.4	156.6	160.7
運 輸 通 信 業	22.7	22.2	22.6	171.7	159.9	168.5	20.2	16.0	19.1	191.9	175.9	187.6
電 気、ガ ス、水 道 業	22.8	22.3	22.8	153.3	161.8	154.1	19.1	6.5	17.9	172.4	168.3	172.0
修 理 業	22.8	23.1	22.8	177.6	184.2	178.4	12.2	11.3	12.1	189.8	195.5	190.5
医 療 保 健 業	23.0	22.0	22.4	174.0	162.3	167.2	11.9	10.7	11.2	185.9	173.0	178.4

産業別、常用労働者の1人平均月間現金給与額日雇労働者等の1人1日平均現金給与額

(昭和40年5月分)

産 業 別	きまつて支給する給与			特別に支払われた 給 与			現金給与総額			日雇労働者等 の1人1日平 均現金給与額
	男 子	女 子	総 数	男 子	女 子	総 数	男 子	女 子	総 数	
総 数 (サービス業を除く)	円 28,475	円 15,001	円 24,519	円 1,245	円 488	円 1,022	円 29,720	円 15,489	円 25,541	円 530
鉱 業	32,013	11,734	30,368	—	—	—	32,013	11,734	30,368	467
建 設 業	26,466	14,906	24,794	—	—	—	26,466	14,906	24,794	671
製 造 業	26,882	13,628	22,746	2,151	914	1,847	29,033	14,542	24,593	422
食 料 品 製 造 業	29,937	13,400	23,663	—	—	—	29,937	13,400	23,663	530
織 維 工 業	31,998	13,784	17,298	608	431	459	32,606	14,215	17,757	564
衣服・その他の繊維製品製造業	25,489	13,075	15,552	3,167	1,079	1,606	28,656	14,154	17,158	540
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	22,793	12,162	19,805	540	485	532	23,333	12,647	20,337	570
パルプ・紙・紙加工品製造業	33,257	13,404	30,451	2,270	424	1,928	35,527	13,828	32,379	690
出版・印刷・同関連産業	29,991	16,596	25,995	—	—	—	29,991	16,596	25,995	—
化 学 工 業	30,124	15,549	25,558	2,587	1,926	2,432	32,711	17,475	27,990	—
ゴ ム 製 品 製 造 業	18,812	11,289	14,633	—	—	—	18,812	11,289	14,633	—
皮 革 ・ 同 製 品 製 造 業	29,364	15,217	27,003	1,043	1,708	1,164	30,407	16,925	28,167	1,130
鉄 鋼 業	32,743	20,487	31,950	—	—	—	32,743	20,487	31,950	—
非 鉄 金 属 製 造 業	29,412	15,285	27,490	244	229	242	29,656	15,514	27,732	—
金 属 製 品 製 造 業	22,077	11,611	19,174	—	—	—	22,077	11,611	19,174	—
機 械 製 造 業	20,230	12,413	18,283	1,861	943	1,625	22,091	13,356	19,908	530
電 気 機 械 器 具 製 造 業	26,628	12,969	22,277	1,965	449	1,482	28,593	13,418	23,759	—
輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	23,637	12,663	21,781	1,943	633	1,756	25,580	13,296	23,537	410
計量器・測定器・測量機械・医療機械・ 理化学機械・光学機械・時計製造業	24,692	14,901	20,188	382	403	392	25,074	15,304	20,580	610
そ の 他 の 製 造 業 (武器,たばこ製造業を含む)	29,898	16,686	24,979	—	—	—	29,898	16,686	24,979	570
卸 売 業, 小 売 業	30,528	15,679	24,892	1,157	635	959	31,685	16,314	25,851	530
金 融, 保 険 業	31,186	20,536	25,583	—	—	—	31,186	20,536	25,583	—
不 動 産 業	23,766	10,778	21,954	—	—	—	23,766	10,778	21,954	—
運 輸 通 信 業	32,499	19,658	29,020	641	640	641	33,140	20,298	29,661	410
電 気, ガ ス, 水 道 業	36,992	18,169	35,245	1,968	831	1,862	38,960	19,000	37,107	—
修 理 業	23,309	16,095	22,402	1,936	1,273	1,803	25,245	17,368	24,205	—
医 療 保 健 業	49,932	25,207	35,496	446	428	435	50,378	25,635	35,931	—

産業別、常用労働者の月末推計、労働者数ならびに産業および日雇労働者等の月間推計人員

(昭和40年5月分)

産業別	前月末推計労働者数			本月中の増加推計労働者数			本月中の減少推計労働者数			本月末推計労働者数			日雇労働者等の月間推計延人員
	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	
数 (サービス業を除く)	122,483	51,005	173,488	2,760	1,570	4,330	2,702	1,742	4,444	122,541	50,833	173,374	31,318
業	9,327	825	10,152	147	12	159	239	24	263	9,235	813	10,048	9,817
建設業	7,007	1,188	8,195	93	24	117	316	67	383	6,784	1,145	7,929	3,207
製造業	77,852	35,406	113,258	2,261	1,381	3,642	1,746	1,314	3,060	78,367	35,473	113,840	12,715
食品製造業	3,052	1,823	4,875	46	99	145	177	94	271	2,921	1,828	4,749	70
繊維工業	631	2,686	3,317	23	16	39	18	87	105	636	2,615	3,251	1,086
繊維・その他の繊維 製品製造業	579	2,304	2,883	10	46	56	16	33	49	573	2,317	2,890	7,017
木材・木製品製造業	2,109	818	2,927	9	32	41	82	48	130	2,036	802	2,838	75
パルプ・紙・紙加工 品製造業	1,859	307	2,166	31	6	37	18	6	24	1,872	307	2,179	1,535
出版・印刷・同関連 産業	704	303	1,007	8	—	8	28	16	44	684	287	971	—
化学工業	1,606	749	2,355	80	31	111	18	35	53	1,668	745	2,413	—
ゴム製品製造業	199	252	451	4	3	7	4	6	10	199	249	448	—
電気・土石製品製造 業	5,115	1,027	6,142	181	48	229	78	31	109	5,218	1,044	6,262	196
鉄鋼業	2,608	182	2,790	190	43	233	25	9	34	2,773	216	2,989	—
非鉄金属製造業	6,510	997	7,507	198	94	292	71	19	90	6,637	1,072	7,709	—
金属製品製造業	1,539	582	2,121	27	40	67	23	21	44	1,543	601	2,144	—
機械製造業	5,746	1,904	7,650	22	22	44	183	71	254	5,585	1,855	7,440	175
電気機械器具製造業	34,508	16,242	50,750	1,170	644	1,814	765	679	1,444	34,913	16,207	51,120	—
輸送用機械器具製造 業	4,635	950	5,585	103	3	106	131	20	151	4,607	933	5,540	146
計測器・測定器・測量機械・ 物理化学機械・光学 機械・時計製造業	2,929	2,491	5,420	47	104	151	41	89	130	2,935	2,506	5,441	114
その他の製造業 (食品、たばこ製造業を) 含む	2,639	1,525	4,164	106	150	256	62	44	106	2,683	1,631	4,314	1,448
卸売業、小売業	5,634	3,494	9,128	150	32	182	52	66	118	5,732	3,460	9,192	49
金融、保険業	2,851	3,210	6,061	4	18	22	52	162	214	2,803	3,066	5,869	—
不動産業	56	9	65	—	—	—	1	—	1	55	9	64	—
運輸通信業	18,138	6,707	24,845	69	103	172	268	109	377	17,939	6,701	24,640	5,530
電気、ガス、水道業	1,618	166	1,784	36	—	36	28	—	28	1,626	166	1,792	—
娯楽業	516	73	589	6	2	8	10	—	10	512	75	587	—
娯楽保健業	1,800	2,512	4,312	15	15	30	38	20	58	1,777	2,507	4,284	—

茨城県鋳工業

(昭和40年4月)

概況

4月の鋳工業生産指数は148.8で、前月比23.2%減、前年同月比0.7%減となつた。

前月比での大きな減少は、季節修正を加えないため、季節修正指数では、3月の154.5と1.3%の増加となつている。なお、公益事業を加えた産業総合指数は148.4で前月比23.1%減、前年同日比0.8%減である。

産業別にみると

(1) 製造業指数 154.5

前月比2.4%減、前年同月比0.3%の減少であるが、ウエイトの大きい上位4業種とみると、前年同月比で電気機械工業28.9%増、食料品工業7.4%増に対し一般機械工業37.7%減、非鉄金属工業14.9%減と一般機械工業の大きな減少が目立っている。

(2) 鋳業指数 105.0

前月比12.5%減、前年同月比5%減となつているが、これは石炭工業での生産減によるものである。

(3) 公益事業指数 91.3

前月比6.9%増であるが、前年同月比では17%減と大きく低下している。

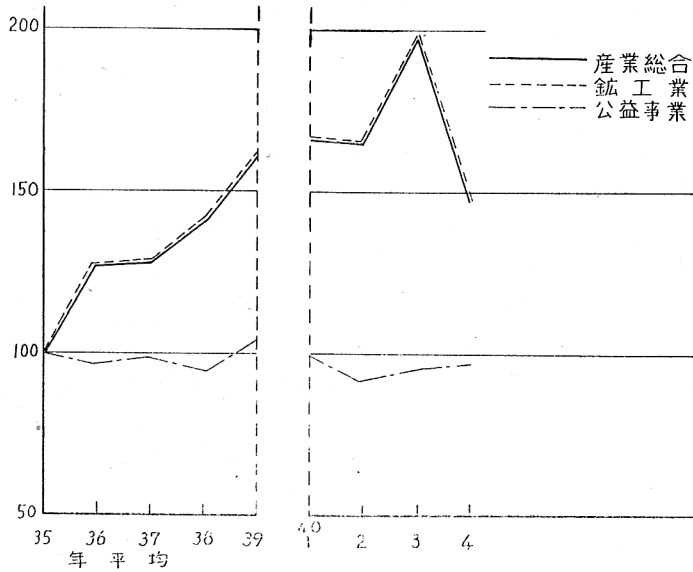
年 月	分 類	製				
		産 業 総 合	公 益 事 業	鋳 工 業	鋳 業	石 炭 鋳 業
	ウ エ イ ト	100.00	0.60	99.40	11.42	70.92
	昭和35年 平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	// 36 //	126.5	96.9	126.6	102.9	101.8
	// 37 //	126.1	97.2	126.3	103.5	99.1
	// 38 //	140.8	84.1	141.2	105.8	101.8
	// 39 //	163.5	104.1	164.0	110.0	105.1
	// 39 4 月	149.6	110.0	149.9	110.5	105.7
	// 40 3 月	Y 193.1	85.4	Y 193.8	120.0	108.3
	// 40 4 月	P 148.4	91.3	P 148.8	P 105.0	97.0

年 月	分 類	製				
		輸 送 用 機 械	精 密 機 械	窯 業	化 学 工 業	石 油 石 炭 製 品
	ウ エ イ ト	2.38	0.83	4.95	2.58	0.28
	昭和35年 平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	// 36 //	193.6	155.5	100.3	107.0	96.2
	// 37 //	215.1	653.3	98.8	90.8	94.5
	// 38 //	266.7	1,064.8	100.7	94.3	77.5
	// 39 //	318.0	1,260.0	120.7	97.2	70.0
	// 39 4 月	316.0	1,319.7	92.0	97.8	74.1
	// 40 3 月	343.0	1,309.5	123.0	62.2	74.1
	// 40 4 月	307.1	1,049.5	122.3	57.1	74.1

注 Yは訂正数字、Pは速報数字を示す

業 生 産 指 数

35年=100



金属鉱業		非金属鉱業	製 造 業			
鉄 鋼 業	非鉄金属工業	一 般 機 械	電 気 機 械			
25.69	3.39	88.58	2.92	17.21	10.47	27.99
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
103.8	120.1	129.7	128.5	140.2	155.8	143.8
112.6	124.8	129.3	128.5	107.9	145.7	141.7
113.9	139.5	145.7	133.8	138.8	169.2	145.1
113.9	185.2	170.9	169.3	200.0	158.5	181.2
117.8	155.9	155.0	190.3	212.4	144.7	135.5
115.8	396.5	Y 203.3	171.6	184.5	119.0	Y 231.4
119.1	P 165.0	154.5	152.6	180.7	90.0	174.7
造			業			
皮革工業	紙及パルプ	繊維工業	製 材	食料品工業	たばこ工業	その他の工業
0.14	1.43	2.31	3.96	10.44	7.13	4.98
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
117.9	120.5	142.3	106.8	105.9	81.8	130.2
172.1	149.7	165.2	112.6	119.0	74.0	114.2
220.3	162.2	176.7	108.0	122.7	72.0	162.2
255.8	175.4	144.7	128.2	126.2	56.9	169.6
216.0	164.4	126.1	131.3	97.8	66.9	178.5
302.7	186.2	149.8	127.9	326.7	39.0	280.2
268.5	156.2	153.0	117.8	105.0	39.3	247.9

市町村別人口と世帯数

=昭和40年4月1日現在=

種別 市町村別	世帯	人 口			種別 市町村別	世帯	人 口		
		計	男	女			計	男	女
県 計	421,513	2,082,858	1,023,877	1,058,981	神 波 村	3,058	15,775	7,744	8,031
郡 計	221,590	1,133,742	552,109	581,633	檜 崎 町	4,719	24,345	11,966	12,379
市 計	199,923	949,116	471,768	477,348	行 方 郡	13,267	68,801	32,819	35,982
水 戸 市	35,602	158,507	77,292	81,215	麻 生 町	3,667	18,657	9,056	9,601
日 立 市	39,868	182,950	95,930	87,020	牛 堀 来 町	1,286	6,294	2,948	3,346
土 浦 市	16,908	82,672	40,853	41,819	潮 来 町	3,330	17,605	8,209	9,396
古 河 市	11,166	49,791	24,118	25,673	北 浦 町	2,229	11,630	5,540	6,090
石 岡 市	7,658	36,810	17,578	19,232	玉 造 町	2,755	14,615	7,066	7,549
下 館 市	10,697	52,971	25,836	27,135	稲 敷 郡	22,008	110,839	54,542	56,297
結 城 市	7,892	38,011	18,284	19,727	戸 崎 村	2,575	12,756	6,050	6,706
竜 崎 市	7,291	34,562	16,670	17,892	久 保 村	1,706	8,490	4,029	4,461
下 妻 市	6,836	33,372	16,200	17,172	阿 久 保 村	4,658	23,425	12,124	11,301
水 戸 市	5,723	28,216	13,609	14,607	牛 久 保 村	3,508	16,898	8,480	8,418
常 陸 市	7,539	36,815	17,801	19,014	新 井 村	1,083	6,216	3,101	3,115
高 萩 市	7,823	37,992	18,440	19,552	利 根 村	1,789	8,896	4,307	4,589
茨 城 市	9,088	53,423	28,848	24,575	内 川 村	2,399	11,918	5,778	6,140
茨 城 市	7,357	34,317	17,071	17,246	河 原 村	1,746	8,707	4,122	4,585
北 茨 市	12,031	57,349	28,165	29,184	東 根 村	2,544	13,533	6,551	6,982
北 茨 市	6,444	31,358	15,073	16,285	新 治 郡	15,530	78,649	38,239	40,410
東 茨 城 郡	26,118	129,337	62,941	66,396	出 玉 村	3,412	16,548	8,120	8,428
常 陸 郡	1,739	9,301	4,497	4,804	八 千 代 村	964	4,641	2,192	2,448
茨 城 郡	5,660	29,334	14,484	14,850	新 井 村	5,598	29,256	14,180	15,076
小 美 野 郡	3,062	15,708	7,621	8,087	波 田 村	2,127	11,264	5,533	5,731
美 野 郡	2,961	14,309	7,024	7,285	伊 奈 村	1,589	7,885	3,836	4,049
小 美 野 郡	2,399	12,898	6,410	6,488	谷 奈 原 村	1,840	9,055	4,378	4,677
肉 桂 郡	2,361	10,869	5,206	5,663	筑 波 郡	17,305	86,038	41,576	44,462
常 陸 郡	1,776	8,131	3,861	4,270	谷 田 部 村	4,059	20,573	10,068	10,505
肉 桂 郡	1,384	6,527	3,129	3,398	伊 奈 原 村	2,174	11,398	5,431	5,967
大 洗 町	4,776	22,260	10,709	11,551	和 里 村	1,991	10,147	4,900	5,247
西 茨 城 郡	11,712	59,232	28,594	30,638	伊 波 村	2,169	10,636	5,190	5,446
友 部 郡	3,810	19,426	9,348	10,078	筑 波 村	4,667	22,593	10,834	11,759
岩 間 郡	2,771	13,497	6,550	6,947	大 波 村	2,245	10,691	5,153	5,538
七 岩 郡	689	3,560	1,741	1,819	真 壁 郡	14,206	74,116	35,787	38,329
岩 間 郡	4,442	22,749	10,955	11,794	関 野 村	2,714	14,577	7,027	7,550
那 珂 郡	20,777	105,447	52,103	53,344	明 野 村	3,074	16,343	7,865	8,478
東 那 珂 郡	2,864	16,810	8,907	7,903	真 大 協 村	4,320	21,674	10,445	11,229
那 珂 郡	6,158	31,132	15,323	15,809	和 野 村	1,425	7,339	3,588	3,751
海 城 郡	1,409	6,947	3,327	3,620	壁 野 村	2,673	14,183	6,862	7,321
瓜 連 郡	4,797	23,555	11,424	12,131	結 城 郡	9,461	49,064	23,710	25,354
大 山 郡	2,543	12,186	5,963	6,223	八 千 代 村	4,237	23,205	11,220	11,985
美 緒 郡	1,502	7,543	3,686	3,857	石 代 村	1,606	7,600	3,682	3,918
久 慈 郡	13,750	66,803	32,211	34,592	下 川 村	3,618	18,259	8,808	9,451
金 砂 郡	2,729	13,852	6,648	7,204	猿 島 郡	21,051	118,685	58,534	60,151
水 府 郡	2,187	10,255	4,884	5,371	総 五 三 岩 井 村	3,311	21,052	11,026	10,026
里 美 子 町	1,361	7,187	3,427	3,760	和 野 村	1,569	8,515	4,207	4,308
大 子 町	7,473	35,509	17,252	18,257	和 野 村	3,332	18,871	9,138	9,733
多 賀 郡	2,221	10,834	5,329	5,505	和 野 村	2,537	14,217	6,907	7,310
鹿 島 郡	21,942	116,813	56,860	59,953	和 野 村	6,126	33,897	16,663	17,234
旭 田 郡	1,962	11,531	5,566	5,965	岩 井 村	4,176	22,133	10,593	11,540
鉦 田 郡	5,452	28,255	13,707	14,548	北 相 馬 郡	12,252	59,084	28,864	30,220
大 洋 郡	1,832	9,800	4,678	5,122	守 取 村	2,362	11,524	5,630	5,894
大 野 郡	1,822	9,814	4,816	4,998	藤 手 村	5,730	25,844	12,659	13,185
鹿 島 郡	3,097	17,293	8,383	8,910	利 根 村	2,450	12,979	6,306	6,673
					利 根 村	1,710	8,737	4,269	4,468

この調査の人口と世帯数は県において推計にもとづいて作成したものである。

◆国調の成果明るい明日が待ち◆

国調の、国勢調査は早期公表という旗印をかかげて3月1日に始まる。全国49万人（本県9,300余人）の調査員を擁する。全世界約2,300万（本県の42万）を訪問して、約9,800世帯（本県約200余万人）の人口を、もれなく、重複しないように調査することになっている分国勢調査の結果は国調の議員定数を決定するとか、地方交付税の算定資料とするとか、国や地方の行財政、その他人口に関する各種の資料として欠くことのできない基本的な調査で、その結果が、私達の生活を明るく豊かにするための資料として活用されることを考えるとき、正しい調査票の記入

は、国調の成果をより一層高め、私達の生活に貢献していることになる。

◆国調の準備会議で今日も暮れ◆

国勢調査実施本部は、目下大童の状態、この事を行なうためには準備が大切、そのために本部の企画指導班では連日の事務打合せを積み、完全遂行を旨ざしいろいろの企画に力をこめて取り組んでいる。組織達成のためには一致してあては駄目、こうした方がいかに苦勞は並大底ではないらしい。会議、課内の会議をはじめ、市町村統計主任者会議、事務主任者、指導員、調査員打合せなどが9月まで続く、まさに国調の準備は会議に追いまわされているようである。

◆アイデアが浮び広報マンの笑み◆

国調は正にP、R時代、国勢もまた然り、一般の調査対象者に正しい記入をしてもらうためには広報が大切、実施本部の広報班もいかに、良い広報をなすべきかに頭を悩ませます。民間企業の金糸目をつけないP、Rにくらべると予算では折角のいいアイデアも予算によつてオジヤンになることも多い、少ない予算を有効に使つて、よいP、Rを行なうために今日も広報班はペンを握つて思案にふける。

◆30のよわいたたえる今日があり◆

統計協会創立30周年を祝つて、昭和40年度県統計大会

が7月6日茨城会館で開催される。人間も30才になつてようやく思慮分別をわきまえ、どうやら家庭をもつて一社会人となる。協会も創立以来30年、その間大戦前後の苦境期をのり越えて現在に至る。先輩の築いたこの輝やかなしい業績を汚さぬように県下の統計マン、近代統計の遂行に応え、統計思想の普及に団結を誓う。国勢調査後に控え統計大会も行政管理庁中山政務次官、野田統計局長らを迎えまことに有意義、盛大裡に行なわれた。

◆虫歯チクチク大の男を眠らせず◆

6月4日虫歯予防デー、四界静かに眠る真夜中の歯痛こそ神経が芽え七転八倒までといかないまでもどうにも

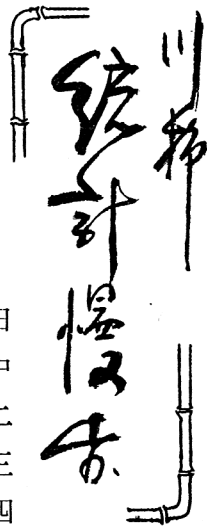
我慢がならない痛さ、僅か1センチ大の虫歯があれば一睡も出来ないつらさは本人以外知るよしもない。最近衛生思想が進んで虫歯も少なくなつたようであるが、昭和39年学校保健統計調査による児童生徒の虫歯のある者は、小学校で男79.2%、女81.1%、中学校男64.6%、女67.7%、高等学校男66.0%、女63.5%と低学年ほど多く、依然として子供達を悩ませているようである。

◆開会が遅れる会議気にもせず◆

日本人は時間の観念が薄いといわれる。たしかに会議など必ず定刻に始められるのは希であろう。一般もどうせ遅れるんだらうと遅れることを計算に入れて集合する。6月10日は時の記念日、刻々と過ぎ去つていく時間は再びかえらぬ。時間を無駄にしないようお互に近代人としての自覚を再認識するのもこの日である。

◆けん牛と織女に冴える天の川◆

7月7日は七夕さま、昔は盛んであつたこの行事も一般家庭からは忘れられ、現在では商店界の客寄せのためP、R用のお祭りとなつてしまつたようでまことに心寂しい。この頃の夜星には銀河が美しく冴え、けん牛星と織り姫星のロマンチックな悲しい天体のロマンスをより美しくするために永遠の輝きを地上に届ける。見上げると人間移学の進歩人口衛星もぎつと天体の星の仲間入をして地球を駆け廻っていることであろう。



(12)

統計の交差点

昭和40年度県統計大会終了

去る7月6日県内統計関係者を集めて開かれた、昭和40年度の茨城県統計大会は出席者800人をかぞえ、盛大に行なわれましたが、関係者皆様方の絶大なご協力の賜と厚く感謝いたします。今後とも統計につきましてはよろしくご協力のほどおねがいいたします。なお当日の模様、表彰者などの名簿は別記(7ページ)のとおりです。ご高覧下さい。

第16回全国統計大会開催される

7月20日、21日の両日横浜市神奈川県立音楽堂で雨模様の中にもかかわらず全国からの参会者を集めて、盛大に行なわれました。本県からも多数出席参加いたしました。大会次第は予定どおり行なわれましたが、昨年行なわれた前夜祭、当日の慰安の夕べは行なわなかつた。

なお第13回統計図表コンクール入賞作品が会場に展示され一層大会気分を盛り上げていた。この統計大会の模様については後日本誌に掲載する予定であります。

統計大会次第(7月21日)

受付開始	8:30	
開会・あいさつ	9:30	
表彰	9:45	
祝辞及び祝電披露	10:45	
受賞者総代謝辞	11:00	
議事	11:05	
休憩(昼食)	12:00	
研究発表	12:40	
パネル討議	13:40	
議事採決・宣言決議	15:10	
次期開催地決定	15:25	
記念講演	15:30	
万才三唱・閉会	16:35	以上

40年国調市町村事務主任者打合せ会

昭和40年国勢調査の市町村事務取扱の要項、指導員の手引き、調査の内容等について県下ブロック毎に7月12日から16日まで5日間行なわれた。

7月12日(9:30~4:00)	麻生町	鹿島, 行方郡
13日	//	土浦市 稲敷, 新治, 筑波北相馬郡
14日	//	日立市 東茨城, 西茨城, 那珂, 久慈, 多賀郡

15日	//	笠間市 16市
16日	//	下館市 真壁, 結城, 猿島

県民性の調査

茨城県の住民の人びとが、公私の生活を通じて起るいろいろな問題について、どのように感じ、またどのように考えているか、といったものの見方、考え方についてこれを調べ総合的に県民全体としての考え方や態度の徴を明らかにし、これを今後の県政のうえに反映させゆき、また民間の営業上の指針、教育上の参考、学問研究の資料として多方面で利用されることを期待して、このたび県民性の統計調査が行なわれることになりました。調査の方法は県内の選挙有権者の中から、抽選で買戻の回答者になつていただく方を選びますが、既に約500人が決定しております。回答者に決つた方には、ご多忙の中まことにご迷惑とは思いますが、私達の将来明るい豊かな生活の基礎資料を作る大事な調査であることを、ご認識ご理解いただきまして、自由にご遠慮なく記入下さつて洩れなく回答下さるようお願いいたします。

調査回答が少ないと、その結果においても「ゆがみ」も出る可能性もありますので、是非ともご協力をお願いいたします。

なお、この調査項目は宗教、子供、家、社会、男女別日本人、人種その他数項について行います。

調査は来る8月1日を期して実施いたしますが、結果については昭和41年3月31日までに発表できる見込にご協力ご期待をねがいます。

昭和39年工業統計調査(用地・用水)

昭和39年の工業統計調査中、10人以下の事業所の調査についてはすでに通産省への進達も終り、現在工業用地の取まとめ中ですが、この調査は、県内の工場敷地や用水取得面積や工業用水の使用量などを行政資料や一般会社団体等の利用に供しようとするものであるが、近く集計も終り一般に公表できる見込があります。

統計人へ叙勲

政府は多年各界にあつて、社会に功勞のあつた1,000人に春の叙勲を発表した。

統計調査の功労者として、次の6氏が叙勲をうけ

兵衛氏 (東京)	勲一等瑞宝章
実輝氏 (東京)	勲五等双光旭日章
正巳氏 (和歌山)	勲六等单光旭日章
渡辺之助氏 (栃木)	勲六等瑞宝章
重次氏 (山形)	勲六等瑞宝章
藤本太郎氏 (広島)	勲六等瑞宝章

就業構造基本調査について

就業状態を明らかにして、経済計画、雇用失業対策などの基礎資料を得る目的で、3年毎に行なわれているこの調査もすでに説明会、用紙の配付等も終り実施の段階でありますが、今後の事務執行の予定は下記のとおりです。ご協力をお願いいたします。

記

調査世帯の選定	7月6日～7月10日
実施調査	7月6日～7月15日
調査書類の提出期限(市町村)	7月24日(土曜)

1965年中間農業センサス農家調査 結果表審査

1965年中間農業センサス調査結果表の審査会は下記の日程で行なわれました。

6月10日	山方町
6月11日	岩瀬町・玉里村
6月12日	大子町
6月14日	下館市・谷田部町・八千代村
6月15日	竜ヶ崎市・麻生町・那珂湊市
6月16日	桜川村・藤代町
6月17日	協和町・岩井町
6月18日	大洗町・波崎町

昭和39年の鉱工業生産指数

経済情勢、景気の動向の把握に重要な資料として、活

用されている鉱工業生産指数の39年分が、このほどまとめられ公表されました。

この資料は、35年を基準とした39年の本県鉱工業の生産指数を表わしたもので、内容は

- 昭和39年の鉱工業生産動向
- 産業別対前年比上年上昇率の比較
- 品目別対前年比上年上昇率
- 鉱工業生産指数(季節修正済)の月別推移
- 35年基準茨城県鉱工業生産指数

に分れており、統計数表が大部分であり行政資料、営業の計画立案、研究などに御利用下さい。

パンフレットご入用の方は県統計課経済統計係までお申し込み下さい。

国勢調査記念たばこ発売

総理府統計局では、かねて日本専売公社に対して来る10月1日の国勢調査を記念しての記念たばこを発売することを申請中であつたがこのほど発売することに決定した旨下記のとおり通知があつた。

名称	第10回国勢調査記念	区域	全 国
品種	ひびき	期日	9月25日から
数量	2億本		

教職員の統計図表講習会

県統計教育研究部では、統計教育の充実向上と統計図表作成の手法の手法、技術の習得、指導力の向上をはかる目的で、県内4ブロックでその講習会が開かれた。

講師は教育庁指導主事塚平八郎氏・県統計課広報資料係長田中文司氏が当つた。参加者は県下教員で下記の日程で行なわれた。

8月2日	日立市河原子小学校
8月6日	下妻市下妻小学校
8月10日	土浦市真鍋小学校
8月17日	水戸市 県校長会館

統 計 課 人 事 異 動

(昭和40年6月10日付)

新

友部病院事務局主査兼庶務課長
統計課庶務係長
同 (人口学事統計係付)
同 主幹 (人口学事係付)
東北振興事務所
農地部農地課
電書公聴課
統計課商工統計係
同 経済統計係
同 庶務係

飯 田 喜 市
清 水 孝 親
主 幹 中 村 健 三
主 事 稲 葉 鶴 夫
主 事 坪 好 隆
主 事 齊 田 好 子
主事補 小 国 勝 雄
主 事 河 辺 芳 雄
主事補 住 谷 義 親
主事補 木 村 み づ い

旧

統計課庶務係長
総務部消防防災課庶務係長
鹿島開発第二課主幹 (鹿島臨海工業地帯開発組合)
統計課人口学事統計係
同 商工統計係
同 広報資料係
同 経済統計係
県立図書館
農林水産部蚕糸課
大宮土木事務所

近 着 統 計 資 料 案 内

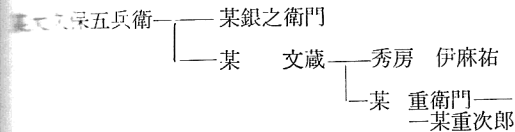
図 書 名	調査年 刊行年	発 行 者	図 書 名	調査年 刊行年	発 行 者
社会・教育			消費者実態調査報告	39年	愛 知 県
39年度総合調査報告	39年	住宅金融公庫	県 民 所 得	38年	秋 田 県
科学技術研究調査報告	39年	総 理 府 統 計 局	鹿 児 島 県 統 計 年 鑑	39年	鹿 児 島 県
申告所得税と実態	38年	国 税 庁	学校基本調査結果報告	〃	千 葉 県
産業・経済			京 都 市 民 所 得	38年	京 都 市
昭和38年工業統計調査集計結果	38年	通 産 省	島 格 県 生 業 指 数	39年	島 根 県
事業所統計調査報告(栃木)	〃	総 理 府 統 計 局	奈 良 県 統 計 年 鑑	38年	奈 良 県
〃 (福島)	〃	〃	商 業 の す が た	39年	静 岡 県
〃 (千葉)	〃	〃	横 浜 市 の 商 業	〃	横 浜 市
〃 (群馬)	〃	〃	横 浜 市 の 工 業	〃	〃
〃 (石川)	〃	〃	佐 賀 県 の 商 業	〃	佐 賀 県
〃 (高知)	〃	〃	長 野 県 の 商 業	〃	長 野 県
〃 (静岡)	〃	〃	第3次漁業センサス結果概要	38年	千 葉 県
〃 (愛知)	〃	〃	県 民 所 得 と そ の 推 計	39年	兵 庫 県
商業統計表(産業編)1巻	〃	通 産 省	山 口 県 統 計 年 鑑	38年	山 口 県
〃 (〃)2巻	〃	〃	工 業 統 計 調 査 結 果	38年	宮 城 県
〃 (品目編)3巻	〃	〃	3千億を超えた販売額	39年	三 重 県
水産物流通統計年報	〃	農 林 省	山 梨 県 の 農 家 経 済	38年	山 梨 県
個人企業経済調査年報	〃	総 理 府 統 計 局	果 樹 農 業 の 実 態	39年	千 葉 県
貯蓄動向調査	39年度	〃	大 分 県 勢 の 展 望	40年版	大 分 県
豚飼養の動向	40年 5月	農 林 省	県 民 所 得 推 計 結 果	38年	徳 島 県
基礎調査結果報告	39年	〃	京 都 府 民 所 得 の 概 要	〃	京 都 府
運輸経済年次報告	39年	運 輸 省	35年京都府産業連関法		〃
地方都市の貨物、旅客の流入 出入調査表	38年度	〃	京 都 市 の 教 育	40年版	〃
都道府県			茨 城 県		
長野県鉱工業生産指数	39年	長 野 県 統 計 課	茨 城 県 農 業 所 得 統 計	38年	農 林 省 茨 城 県 統 計 調 査 事 務 所
広島県統計要覧	〃	広 島 県 〃	農 林 水 産 統 計 年 報 (水 産 編)	〃	〃
県民所得推計報告書	38年	岡 山 県 〃	主 要 農 作 物 市 町 村 別 資 料	39年	〃
法人企業統計調査報告書	〃	〃	道 路 現 況	40年 3月	県 道 路 補 修 課
東京都生命表	35年	東 京 都 統 計 部	気 象 資 料	40年 6月	県 災 害 対 策 本 部
香川県勢一覽	40年版	香 川 県	茨 城 県 に お け る 放 射 能 調 査	40年 3月	県 衛 生 研 究 所
県 民 所 得	38年	石 川 県	39年産業たばこ生産統計表	39年	日 本 専 売 公 社 水 戸 地 方 局
石川県の人口	39年	〃			

大久保 今 輔 (3)

前 田 香 径

大久保氏の祖先は、小野崎越前守通久の家臣で古い軍記「石神後鑑記」によると、石神(現在那珂郡東海村)に野崎氏落城のとき(討ち洩らされたる大久保淡路が亀井に到着)とある。この亀井は亀作のことで、石神の誤写であろう。大久保家の記録にも那珂郡石神二、赤城姓、大久保淡路守、久慈郡亀作村へ移るとあり、大久保氏の遠祖が天正年間この地に掃農したことは推していいと思う。重忠老は耳が遠くて私の質問にも聞きとれない様子だったが「石神落城のとき、亀井に逃げのびてきたが、セト(裏)はその3人中の一人だ」と私に語ってくれた。だが老人は私の知りたがる今輔のことについては、語るのを好まぬといふ態度が感じられたのである。

亀井は山一つをへだてて多賀郡大窪村(現在日上市)にあり、この地は佐竹氏の家臣大窪氏が数代にわたって居たところで、徳川時代になって大久保に移った。佐竹氏の「常陸三家譜」の中に大窪氏の系譜が記されているが、今輔の始祖はこの大窪氏の血脈についていわれている。彰考館所蔵の「水府系纂」を見ても今輔の家系は僅かに四代を記入するのみその先祖について全く記載のないのは彼の家に完全な系譜のなかりしであろう。



二、伊麻祐となつているのが、今輔である。水戸藩に在る前は今介と称していたが、伊麻祐と改めたのは天保六年(1823)秋、藩主袁公(齋修)から三百石30石の封を賜つたときで、秀房と名乗つたのも恐らく同じころであらう。彼の祖先は大久保淡路守の血脈といわれているが、大久保は旧姓大窪で、詩人大窪詩仏もその一族である。慶長七年(1601)佐竹氏移封のとき、佐竹氏の家臣丹波守猛虎の一味は水戸城奪取の兵をあげたが、大窪氏は一党悉く刑死した。その一人大窪久光は徳川家臣として謀叛人であるから、彼の一族は久光の断罪を受けて大窪氏の名乗りを擲り、大久保氏と改めたらしいが、大窪氏の名家は流落し、貧農に伍して数代を経てい

特に村人から尊敬されていたとは考えられない。

今輔の墓碑文に「父重左衛門秀政の二子秀光、石川氏の女をめとり二子を生むとしてあり、系纂の五兵衛が後に重左衛門秀政と改めたのなら、その次男文蔵はすなわち秀光で、今輔は文蔵の長男になるわけである。彼の母の石川氏は名をひなと称し、今輔とその弟重衛門を生んでいるが、文蔵は実は彼の義父である。常陸太田市役所刑行の「今輔昭年譜」は「宝暦十年、今輔五歳とき、父文蔵病没し、生母ひなは父の実弟、すなわち、今輔の叔父と逆縁し一子を生む」としてあるが、これを事実とすれば彼は文蔵の兄銀之衛門の子でなければならぬ。

今輔の少年時代は決して幸福だつたとは思われない。明和七年の初夏、彼は義父といつしよに田圃へ出て、耕馬の手綱をとつて苗代つくりをしていたが、義父は彼の動作に何か気に喰わないことがあつてか、疝癪を起して今輔をひどく叱責した。そのときは彼は黙つて畔に上ると、そのまま家へ戻つて出奔してしまつたといわれている。

鈴木成章の「水戸歴世譚」は

「今助と云は水戸在亀作村の賤民にて、遊惰にして博ちを好み、刑を受けし分なりしが、水戸の藤柄町の桑渡世しける六衛門と云るもの世話にて、一時藩士某の家に草履取奉公に住込み、半年許過ぎて暇を取り江戸に上りぬ」(原文のまま)

という一文を載せている。これは彼の少年時代を語る唯一の資料であるが、今輔は時に14歳、賭博好きの不良少年で処刑されたこともあるという。だがこの一文はちよつと信用できない気もする。「桑柄渡世」は「鍛柄渡世」の誤りと思うが著者はこの一文をどんな資料から引用したのであろうか。彼を「賤民」といつているのもひどい。零落していても由緒正しい大久保氏である。「新編常陸国志」も「初今助は罪ありて国を放逐せられしもの」と載せているがその出典は「水戸歴世譚」と同一の原本「無名氏筆記」であろう。この筆記は何者の筆かわからないが、確かな証拠があつて書き残したものとは考えられない。彼の処刑や放逐は疑わしくあり、墓碑文には「明和庚寅14歳、遂に四方の志あり」とあり、家出の理由などは無論記されてはいない。

(つづく)